

第8回 西宮浜小中一貫校庁内開校準備委員会にかかる議事録

日 時：令和元年5月27日（月） 9時30分～10時30分

場 所：東館8階 教育委員会分室

出席者：大和教育次長（委員長）、津田学事・学校改革部長（副委員長）、
佐々木学校教育部部长（副委員長）、薩美課長（教育総務課）、吉田課長（教育企画課）、
澤田課長（教育人事課）、山下課長（学校管理課）、柏木課長（学校施設計画課）、
谷口参事（学校教育部）、中前課長（学校保健安全課）、因幡課長（学校給食課）、
原田課長（特別支援教育課）、山本課長（教育支援課）、岩本課長（教育研修課）、
中島課長（社会教育課）、中尾課長（放課後事業課）、宮後課長（育成センター推進課）、
牧山課長（青少年育成課）、平野課長（学校施設保全課）

事務局：奥谷課長（学校改革推進課）、河内課長（学校改革調整課）、越智係長（学校改革調整課）、
中津係長（学校教育課）、西川指導主事（学校改革推進課）、足立囑託職員（学校改革調整課）、
宮崎囑託職員（学校教育課）、岡本囑託職員（学校教育課）

司 会：津田副委員長

委員長	1. 開会のあいさつ
事務局	配付資料の確認 ・第8回西宮浜中一貫校庁内開校準備委員会 次第 ・平成31年度 第5回西宮浜小中一貫校設置準備委員会 報告 ・学校より（小中合同職員会議[2019/05/10]報告）
	2. 報告依頼事項 (1) 第5回設置準備委員会の報告
事務局	① 校名について ・校名検討部会での3つの案からA案が設置準備委員会では選定された。 A案 西宮浜義務教育学校 B案 西宮浜小中学校 C案 西宮浜マリナ学園
事務局	② 開校記念行事について ・5つの基本的な考え方は了承され、開催日程や内容等を検討の上、再度提案。
事務局	③ 学校より ・6部会が立ち上がり、今後は養護教諭の部会も立ち上がる予定。開校までに決めなければならないことの原案を作っていく、その後、推進委員会で原案をもとに検討していく。 ・現在検討を進めているのは次のような事柄で、小中の職員で話し合っている。 「クラブ活動」「特別支援学級のクラス、支援体制」「朝の打ち合わせ」 「新たな図書の本や図書システム」「水泳指導の在り方」など ・6/28の合同職員会議で、市内の説明会で説明する学校の中身を決めていく。 ・「英語・外国語活動」「プログラミング教育」について、文部科学省と県の調査官がそれぞれ7/16、6/17に授業を参観し、職員に講話する予定。 ・開校前に先行してできることとして、「部活動の体験活動を進める」、「中学の教師が小学校で給食を食べる」など小中の教師が連携して進めようとしている。
社教課	④ P T Aより ・毎月P T A設置準備会を設けている。メール配信システムについては、小中とも

	に「ミマモルメ」を採用し、安全対策を講じる方向。PTA組織をひとつにまとめるにあたって、行程表を作成し、これを機に組織のスリム化や、参加しやすい活動のあり方を考えている。
	質問・意見
育セ課	・特別支援学級児童について、児童はどこで学ぶことになるのか。
事務局	・小学校校舎にも中学校校舎にも学級は作られ、5,6年生が中学校校舎で学ぶことになる。
育セ推課	・中学校校舎から育成センターへの動線について検討したい。
学施保課	・中学校校舎の特別支援学級について、ハード面での整備は必要ないのか。
事務局	・新5,6年生の特別支援学級児童数が多い。中学校校舎で特別支援教育を受けていく上で、教室の整備、場所の確保が必要であると学校の要望がある。
学施保課	・工事の内容によっては、予算や工事の方法などの問題もある。暫定的な措置では済まず、本格的にしなくてはならないなら、関係課で話を進めたい。
副委員長 (学改部)	・現在の工事の窓口としては「学校管理課」「学校改革調整課」。現場を見て確認したり、保護者の意見を受けたりしながら整備を進めていきたい。
事務局	・通級について。週2回の現状であるが、部屋の確保はできており、ハード面の問題は無い。
委員長	・地元の学校に行きにくいと、西宮浜へ行くと考える児童が今後増えることも考えられる。こうした児童についての対応を学校と十分進めてほしい。
事務局	・5,6年生が入る1階に特別支援学級や通級の教室を設けたいと学校も考えているが、可能なのかを検討している。
委員長	・タイムラインが大切である。予算のこともあるが、学校の願いをタイムリーにやり取りできるように、連絡を丁寧にして進めてほしい。
放事課	・校名は「義務教育学校」で決まりか。小学校低学年が学校名を聞かれて「義務教育学校」と言えるのか。子供目線で考えると、通称名のような考え方はないのか。中学生は「学園」のほうがイメージ的に良いと考えるのではないか。
学改推課	・学園がよいとの意見も多くあるが、地域の声として普通がよいという意見が多い。確かに通称名がついている学校もある。意見をいただきながら、最終的な案を出したい
	(2) 前回の庁内開校準備委員会以降の主な動き
事務局	・5/9に阪神バスと協議を行い、小中学校を先に回る逆ルートの検討などをお願いした。回答としては、現在の便数は非常に多く、乗務員不足もあり増便は難しい。午後は逆ルートにしているが、効率性や過去の経緯があってこのようにしている。学校の都合だけでは難しいとのことだった。反対に、学校の始業時間を遅らせることはできないのかといった提案もあった。そうすることで、回送便を利用することも検討できる。
	(3) 今後の主な流れについて
事務局	・指導主事研修会でも西宮浜小中一貫校について話をする。 ・市政ニュース7/10号でも、市民に向けて義務教育学校開校を広く知らせる。 ・説明会にむけてパンフレットを作成していく。
副委員長	3. 閉会あいさつ